

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価（職員） まとめ

- ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか
 - ・人数が多い時は別れて行うなど工夫している。
 - ・日中とデイと分けたりしている。
- ② 職員の配置数は適切であるか
 - ・利用人数に応じて適切に配置されている。
 - ・もう1名いると、個別にもっと寄り添えて良いかと思う。
 - ・人数で日中・デイと分けて、職員も分けたりしている。
- ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか
 - ・段差はそこまでない。スロープなどある。
- ④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか
- ⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか
 - ・保護者からの意向を知ること、新たな目標を設定することができ、反省し次へつなげ、良い支援にしていきたい。
- ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。
 - ・ホームページも見やすく、評価についてもわかり易く記載してある。
- ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
- ⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
 - ・研修参加の職員が報告する事や、委員会での研修を実行している。
 - ・様々な研修が行われ、常に研鑽できる状況にあり、ありがたく思う。
 - ・研修がしっかりあり、自分の振り返る機会になり勉強になっている。
 - ・ティーチャーズ・トレーニングなどの勉強会を行っている。
- ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか
 - ・サービス等利用計画や、保護者との聞き取り、連絡帳のやり取りを活用している。

- ・連絡帳などから保護者の要望などをくみ取るように努力している。

⑩ 子どもの適応行動を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか

- ・新しい課題や製作など相談して決めている。
- ・担任の先生たちでしている。

⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

- ・新しい事を考えた時は、児発管に相談している。
- ・同じ活動を繰り返さないように、新しい活動も取り入れるようにしている。

⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか

- ・時間帯や、休日等に応じて取りくんでいる。
- ・活動時間を考慮している。
- ・長期の時は、時間もゆっくりとれるので、しっかりとした課題を設定するようにしている。

⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか

- ・全体で行う課題と、個別支援計画に沿った活動をしている。
- ・集団・個別活動とメリハリをつけるように工夫している。

⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

- ・設定の内容などを毎日確認している。

⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日の行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

- ・時間のある限り、気になった事や相談したい事など伝え共有を心がけている。
- ・子どもの様子などの話をして振り返りをしている。
- ・必ずではないが、気付いた時は担任の先生に伝えたりしている。

⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

- ・起こった事実を記載するようにし、振り返り改善できるようにしている。
- ・毎日取り組み、自分の振り返りも行っている。

- ⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか
- ・モニタリングに詳しく書けるようにしている。
- ⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか
- ⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
- ㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか
- ・クラス便りを頂いたり、不明な場合は尋ねるなどしている。
バス添乗時は特に担任と話をし、ケガや欠席の理由等を尋ねる。
 - ・送迎時の学校との対応で困った時は、確認の連絡を入れるようにする。
(以前、受けてはいけなかったことを受けてしまったため)
- ㉒ 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか
- ㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか
- ㉔ 放課後等デイサービス事業所から、他の放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか
- ・相談支援専門員を通して情報共有を図っている。
- ㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
- ㉖ 他の放課後等デイサービス事業所との交流や活動する機会があるか
- ・び〜ず南との交流会は非常に喜んでいた。
 - ・び〜ず南との交流会などがあった。
- ㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか

②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

- ・連絡帳や、必要に応じて電話連絡をしている。
- ・連絡帳を通して、共通理解できるように努力している。きちんと伝わるように工夫していくようにしている。

②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか

- ・わかっていなかったので確認をした。

③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

- ・必要に応じて電話等での対応をしている。
- ・クラスで共通理解できていないことがあったため、報告・相談・連絡をしっかりと行う大切さを改めて感じた。

③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

- ・園だより、クラスだよりで伝達。

③⑮ 個人情報に十分注意しているか

③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

- ・サンキューバスなどを運営している。

- ③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか
- ③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか
- ・紙芝居などを用いて話をしたり、訓練に参加している。
 - ・毎月避難訓練をしている。放デイは定期的に訓練している。
- ④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
- ・定期的に勉強会を行っている。
- ④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか
- ④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
- ・指示書を提出してもらっている。
- ④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか